

人と人との豊かな関わりで町づくりを



神崎町長 石橋 輝 一

新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆さまには輝かしい
新春をお迎えのことと、お慶
び申し上げます。

私こと、昨年五月に皆さま
方の暖かいご支援により、二
期目の町政を担うこととなり
ました。町政全般にわたり、
深いご理解とご協力を賜わっ
ておりますことに心から感謝
申し上げます。

昨年、アメリカから端を発
した金融秩序の混乱は、今や
世界恐慌にまで発展する程の
深刻な状況にあります。我が
国も、特に輸出基幹産業とい
われる自動車・電機等が大打
撃を受けており、減産による
大量の人員削減、倒産による
失業者の増大等が多く発生し
ております。この現象は更に
膨張すると予測され、今後益々

国地方とも財源確保は一層困
難を極めると思わざるをえま
せん。

本町では、皆さまの協力の
もと財政立て直しに向けて、
過去四年間行財政改革を積極
的に推進してまいりました。
その成果は大変な経費削減努
力となり、平成十九年度決算
では、一億九千四百万円の剰
余金が生じ、財政調整基金の
残高は三億八千万円まで回復
させることができました。し
かしながら、今日の社会経済
情勢から見ても、決して油断な
らざるものがあり、なお厳し
い緊縮財政運営を強いられる
ところであります。

江戸期、旧米沢藩（現・山
形県）は大変な財政難で窮乏
した折、上杉治憲（鷹山）は、こ
ういう時代こそ人心を整え、
人づくりこそ急務と、全家庭
に唱えたそうです。「儉約とケ
チは違う。儉約もケチも節約
をすることであるが、両者の
決定的違いは、ケチは自分の
ためにしか金を使わず、儉約
は民のために使うことである。」
と、大変大きな差であります。

今の時代、本町にとっても
この儉約の精神こそ求められ

るものと思えます。いかなる
時代でも、地域を支える力の
源は、人の心、人と人との豊
かな関わりがあつてのもので
ありましよう。町民皆さまの
身近な公共サービス向上、地
域活性化施策を持続するため、
本年も気を引き締めて行財政
改革に取り組んでまいります。

合併の第二ステージで、成
田市との合併協議会立上げを
要望いたしました。現時点
で応じられないとの回答であ
り、大変残念であります。富
里市、栄町、多古町、芝山町、
神崎町は、今後も空港との共
存共栄を図るため、空港圏合
併が不可欠であり、その中心
的役割は成田市が担うべきで
あるとの主張のもと、連携を
密にして合併協議の門戸を開
いて対応することを確認いた
してまいります。

本町の産業振興等、活性化
の核となり成田空港発展にも
寄与する圏央道の開通と神崎
IC周辺整備事業の推進は、
北総地域一帯と茨城県南発展
にも大きく貢献するものであ
り、本町が重点施策と取り上
げているハイウェイオアシス
計画の実現に向けて、関係各

機関への陳情要望はもとより、
空港周辺九市町による「成田
空港都市づくり推進会議」の
場等においても、本町の立場
を理解いただくべく主張して
まいります。

その昔、神崎町は利根川舟
運の重要な拠点として栄えた
歴史があります。利根川水面
を観光に産業振興に何か活用
できないかを常々考えており
ましたが、昨年四月利根川沿
線地域自治体（千葉県は十一）
で地域活性化事業推進協議会
を設立、舟運対策を国に申し
入れていたところ、「地方元氣
再生事業」に選ばれました。
本町もぜひ舟着場を設置され
たい旨、また利根川橋梁工事
用に建設された仮設搬路につ
いても、工事完了後も水難・
防災用と親水公園整備促進に
も活用できることから河川占
用を本町で継承させていただ
けるよう国機関に要望してお
ります。

道路は町道武田古原線二期
工事として用地買収が完了し
たことから、工事費用の確保
をしながら進めてまいります。
町道並木郡根岸線改良工事に
伴う田中踏切拡幅工事は昨年

末に完了しました。本年は道
路用地の買収を進め、早期完
成に向けて取り組んでまいり
ます。

高齢化と少子化は本町でも
大きな課題です。特に次世代
を継承すべく子の少子化は深
刻であります。次世代育成支
援対策推進法に基づき策定し
た行動計画にそつて、子ども
の健全な育成と子育て家庭の
支援に努めてまいります。

また、教育行政は今大変な
岐路にあります。学習意欲の
低下、学力低下を招くような
教育方針は払拭されなければ
なりません。子供たちが真に
社会性・自立性を身につける
ことができるよう、教育環境
を整えるため努力をしてまい
ります。

本年も町民の皆さまが安心
安全に暮らせるまちづくり、
協働のまちづくりの実現のた
めに、信頼される行政運営を
力強く進めてまいります。

皆さまの限りない発展とご
多幸を心からお祈り申し上げ、
年頭にあたりご挨拶いたし
ます。本年もよろしくお願
い申し上げます。